

戴帽式を前に「戴帽生講話」が行われました。

◎「ナイチンゲール」の看護の活動を通して、次世代を担う生徒たちに看護の魅力や看護のあるべき姿などをお話ししていただきました。




 看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静かさを適切に保ち、食事を適切に選択し管理すること、こういったことのすべてを、**患者の生命力の消耗を最小にするように整える**ことを意味すべきである。

(ナイチンゲール著、湯楨ます他訳『看護覚え書』(第8版)、p.15、現代社、2023)

■Nursing ought to signify the proper use of fresh air, light, warmth, cleanliness, quiet, and the proper selection and administration of diet—all at the least expense of the patient.

(Florence Nightingale (1860) Notes on Nursing. [Introductory 6-2])

 看護はひとつの芸術 (an art) であり、それは実際的かつ科学的な、系統だった訓練を必要とする芸術である。

(ナイチンゲール著、湯楨ます監修・薄井坦子他訳 ナイチンゲール著作集 第2巻「看護師の訓練と病人の看護」、p.97、現代社、1974)

■Nursing is an art, and an art requiring an organized practical and scientific training.

(Lynn McDonald (ed.) The Collected Works of Florence Nightingale. Vol. 12 (The Nightingale School) p.736. Wilfrid Laurier University Press. 2009)